



# 2005年のレジストリと インターネットコーディネーション

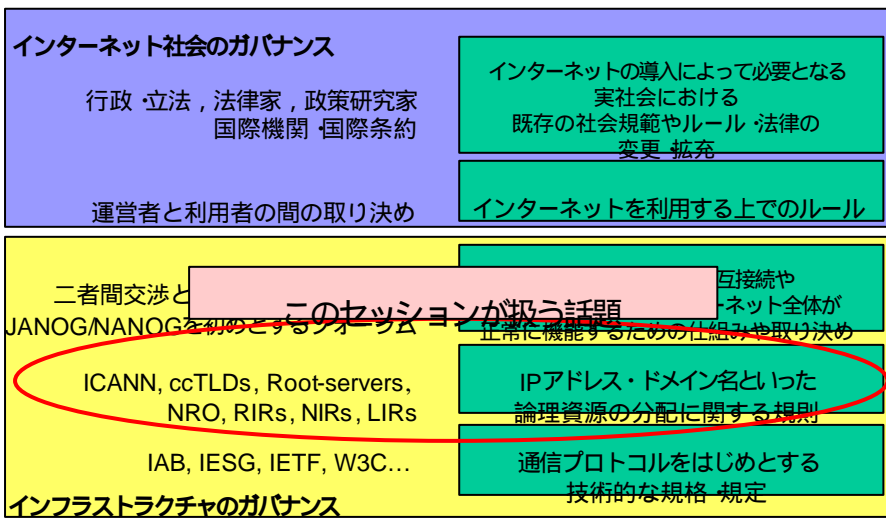
IP Meeting 2005

(社)日本ネットワークインフォメーションセンター  
IP分野担当理事 前村 昌紀  
maem@nic.ad.jp



## インターネットガバナンス 要素とプレイヤーたち

2



Copyright © 2005 Japan Network Information Center. All rights reserved

## 発表者ご紹介

- 取りまとめ・インターネットガバナンス
  - 前村
- ドメイン名にまつわる動き
  - JPRS 企画部 大橋由美さん
- IPアドレスにまつわる動き
  - JPNIC IP事業部 穂坂俊之
- DNSやIANAコーディネーション
  - JPRS 技術研究部 森下泰宏さん

## インターネットガバナンス ICANNとbeyond ICANN

## WSISとWGIG

2005年は、WGIGの本格的検討が  
WSISチュニス会合で結論付けられる一年

- WSIS – World Summit on the Information Society
  - ITU管轄の国連世界サミット <http://www.itu.int/wsis/>
  - デジタルデバイドや情報振興政策が主な議題だが、2003年12月のジュネーブ会合で、インターネットガバナンスに関する議論で紛糾
    - ITU/主権国家の権限が主張された
- WGIG – Working Group for Internet Governance
  - <http://www.wgig.org/>
  - 2005年11月 WSISチュニス会合までにインターネットガバナンス議論に関して一定の結論を出すべく召集された国連事務総長直轄の検討部会。
  - 2004年9月準備会合, 2004年11月メンバ決定, 初会合

Copyright © 2005 Japan Network Information Center. All rights reserved

## WGIGの歩み

- 2004年9月 Open Consultation Session
  - WGIGのあり方を多方面から議論
- 2004年11月 第1回会合
  - インターネットガバナンスの定義と 이슈ーリスト作成
  - Zhaoペーパーとその反論
- 2005年2月 第2回会合
  - 이슈ーごとに 이슈ーペーパーを作成
- 2005年4月 第3回会合
  - 이슈ーペーパーの意見集約
- 2005年6月 第4回会合
  - 最終報告書の取りまとめ

Copyright © 2005 Japan Network Information Center. All rights reserved

## 結局WGIGでは何が起こったか

- インターネットガバナンス諸問題に関するIssue Papersの取りまとめ
  - 取りまとめとパブリックコメント終了
- IPv6アドレス管理に関する議論
  - ITU-TのHoulin ZHAO が、IPv6アドレスに関する現行RIRシステムに加え、ITU-主権国家による管理の併用を主張
- ICANNの統治に関する議論
  - 監視する別組織が必要？ GACの権限強化？ 現状の米国法準拠，米国商務省契約による業務遂行をどう変えるのか

良い整理ができた。今後の検討に寄与

特に何か起こる気配なし

WSISチュニス会合直前までもつれた

Copyright © 2005 Japan Network Information Center. All rights reserved

## WSISチュニス会合での インターネットガバナンスに 関する決議

- チュニスコミットメント
  - 和訳：[http://www.soumu.go.jp/s-news/2005/051119\\_1.html#s1](http://www.soumu.go.jp/s-news/2005/051119_1.html#s1)
- 国際連合管轄でインターネットガバナンス フォーラム(IGF)を設立し、マルチステークホルダーアプローチで最低5年間維持する
- ICANNに関する体制は、米国政府の関与を含めて全て当面現状のまま維持
  - 7月に米国が現状維持を主張して以来、EUの変節など政治的な動きが続き、決議案採択は前日夜半までに及んだ

WGIG体制の発展的延長？

先延ばし。

Copyright © 2005 Japan Network Information Center. All rights reserved

## ICANNのマネジメント

- Strategic Plan の継続検討
  - 2004年に示されたもの Strategic Plan に関して public consultation などを通じて意見聴取。
    - 収支や経営的改善
    - 商務省契約以降の体制とグローバルステークホルダーベース
    - 新技術対応, セキュリティ懸念への対応
- GACの位置づけ
  - 単なるアドバイザーであり、ポリシー決定に影響を及ぼすことが難しい。改善を望む声も。
  - 途上国向けの業務改善などで積極的な対話も

## まとめと今後

- インターネットが市民のインフラとなり、公共政策課題として政治層が本格的に考え始めた2005年
  - 難しいことの解決には時間が掛かる。たくさん積み残しがあるが、大いなる一歩かと。
- 2006年はIGFの動きと議論に要注意